

平成31年度企画展概要（案）

資料5

	展覧会名	事務局	共催(予定)	会 期	開催日数	概要	備 考(巡回先など)
1	タータン 伝統と革新のデザイン	神戸新聞		4月13日(土)―5月26日(日)	39	今日、世界中で広く愛用されているタータンは、本来単なるデザインではなく、長い歴史に育まれたスコットランドを象徴する文化の一つである。本展では、タータンの多彩な色彩や洗練されたデザインはもちろんのこと、タータンやそれに関わる美術作品、資料を通じてその歴史や背景を紹介しながら、現在もさまざまな場面に登場するタータンも併せて展示。約250点の作品・資料により、多角的な視点からタータンの意味や魅力、可能性を探る。	神戸ファッション美術館、三鷹市美術ギャラリー、久留米市美術館、新潟県立万代島美術館
2	広重展 一雨、雪、夜 風景版画の魅力 をひもとく	青幻舎プロモーション		6月8日(土)―7月15日(月祝)	33	江戸後期の浮世絵師・歌川広重(1797~1858)は、独特な構図と豊かな色遣いによる詩情豊かな風景版画で、多くの人に親しまれている。本展では代表作である保永堂版『東海道五拾三次』全作品をはじめ、主要な風景版画約150点を展示し、作品の特徴や造形上の工夫などの鑑賞ポイントの一つひとつを紹介しながら、広重作品の魅力を変えて読み解く。	鹿児島市立美術館、安城市歴史博物館、芦屋市立美術館、九州芸文館、奈良県立万葉文化館、石川県立美術館
3	ホキ美術館名品展(仮)	株式会社 IMPRESSION	めんこいテレビ・岩手日報との実行委員会	7月27日(土)―9月1日(日)	33	日本で初めての写実絵画専門館として2010年に千葉市に開館したホキ美術館は、医療機器メーカー「ホギメディカル」の創業者、保木将夫氏が集めていた個人コレクションを展示公開する美術館である。写真のように対象に忠実に、精緻に描かれた写実絵画は、誰にもわかりやすく親しみやすいため、広く人気を博して近年の美術界における写実ブームの火付け役ともなった。本展では、ホキ美術館コレクションより、野田弘志・森本草介・中山忠彦といった日本の写実絵画におけるの第一人者から、中堅・若手までの作家27名による作品60点を、東北地方では初めて公開する。	酒田市美術館、佐賀県立美術館
4	深澤紅子と岩手の近代美術展(仮)			9月14日(土)―11月10日(日)	50	岩手県ゆかりの美術家を個展形式で紹介する自主企画展の第6弾。 深澤紅子(1903-1993)は盛岡出身の洋画家。若くして最初期の本格的な女流画家として東京で活動したが、戦後は帰郷し、夫であり同郷の省三とともに、子どものための図画教室を開設、指導にあたった。岩手美術研究所とは、1947年に岩手美術連盟が県公会堂地階の一室に開設したもの。深澤夫妻をはじめ、舟越保武や橋本八百二などが講師をつとめた同研究所からは、大宮政郎や晴山英、児玉晃ら当館所蔵作家も多く輩出している。 本展では、当館所蔵作品をはじめ、県内外に点在する深澤紅子の初期から晩年までの仕事を紹介するとともに、深澤夫妻のもとから巣立った美術家たちの作品もあわせて展示し、岩手の近代美術を概観する。	
5	ジブリの大博覧会	テレビ岩手	テレビ岩手ほかとの実行委員会	11月30日(土)―平成32年2月16日(日)	66	本展は、1985年の設立以来、アニメ史上に残る作品を多数制作してきたスタジオジブリの設立から約30年間の歩みを体感できる展覧会である。 スタジオジブリは、設立以来「天空の城ラピュタ」「となりのトトロ」「魔女の宅急便」等のアニメ作品を発表し、国際的にも高く評価されている。 展覧会では、企画書や原画などの資料、映画公開当時を振り返る広告宣伝物やグッズ類を紹介する。また会場内にはトトロのぬいぐるみや実寸大ネコバス、飛行船の動く模型なども展示して、大人から子供まで幅広い世代にジブリの魅力を発信する。	
6	アートフェスタいわて2019		岩手芸術祭実行委員会	平成32年2月29日(土)―3月22日(日)	20	本展は17回目の展示。2020年秋に開催される第72回岩手芸術祭美術展の受賞(芸術祭賞、優秀賞、奨励賞)作品に加え、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画の10部門それぞれから推薦された美術家たちの作品100点。平成30年に受賞した平成28年度岩手県美術選奨受賞作家5人の作品も併せて展示。	